

[成果情報名] カーネーション2年切りに適する品種と夏期の施肥量による改善

[要約] カーネーションの2年切り栽培について、「デリカード」「レジーナ」「パールホワイトトキヤンドル」は年内の品質より2年切りに適し、6月～7月の施肥量は「デリカード」がN5.5kg/10a、「レジーナ」「パールホワイトトキヤンドル」はN3.5kg/10aが優れる。

[キーワード] カーネーション、2年切り、施肥

[担当] 総合農林試験場・作物園芸部・花き科

[連絡先] 電話0957-26-3330、電子メールhazeyama@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 花き

[分類] 指導

[背景・ねらい]

カーネーションは本県花き生産における主要品目の1つである。現在1年1作の作型が定着しており、毎年高い苗を購入することが農家の経営を圧迫し、また、近年切り花などの輸入の増加に伴う国際競争も激化している。

これらに対応するため、低コスト・省力生産技術の確立につながる2年切り栽培や疎植栽培による種苗費の低減などの技術を確立し、カーネーション産地を強化する必要がある。しかしながら、2年切り栽培では秋に切り花重の低下等の問題がみられる。そこで主要4品種を用い施肥改善により、2年切り栽培の秋の品質向上を図る。

[成果の内容・特徴]

1. 採花開始日はすべての品種で2年目が早かった（表1，2）。
2. 2年目の品質については、「レジーナ」「パールホワイトトキヤンドル」は11月に、「デリカード」は12月に25g以上となり、いずれも下垂度は優れる（表1，2）。
3. 「デリカード」2年目は、6月～7月施肥量N5.5kg/10aで、12月の切り花重が1年目より重くなり、年内の採花本数も増加する（表1，2）。
4. 「ビダル」は2年目12月に切り花重が25gを超えたが、下垂度は1年目2年目とも劣る（表1，2）。
5. 「レジーナ」は1年目の秋の品質は、重量があるものの枝が広がり孫芽が増加するなど草姿は劣るが、2年目は改善される。2年目は6月～7月施肥量N3.5kg/10aが適当である（表1，2）。
6. 「パールホワイトトキヤンドル」2年目、6月～7月施肥量をN3.5kg/10aまたはN5.5kg/10aにしても、差はない（表1，2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 6月中旬の切り戻し前後とも、点滴灌水装置を用い常時施肥を行った。
2. 萌芽時期の6月下旬～7月中旬に、N5.5kg/10aはOKF-9をN3.5kg/10aの概ねその3倍量にし、最終的に硝酸石灰で窒素を1.5倍量になるよう施肥を行った。8月は概ね1.5倍量で施肥した。

表1 11月の切り花品質と採花本数

品種名	試験区名	採花開始	切り花重	切り花長	輪数	下垂度 ¹⁾	1株当りの採花本数
デリカード	1年目	11/26	27.5 g	77.0 cm	4.0 輪	4.3	0.1 本
	2年目	6-7月N3.5	21.7	66.0	4.7	4.8	0.7
		6-7月N5.5	11/1	23.6	66.5	4.8	4.8
ビダル	1年目	11/6	31.7	71.7	5.0	3.8	0.9
	2年目	6-7月N3.5	21.7	67.5	4.0	3.3	0.6
		6-7月N5.5	10/27	23.7	68.7	4.5	3.1
レジーナ	1年目	11/10	37.8	73.7	4.8	4.6	0.7
	2年目	6-7月N3.5	31.1	68.7	4.4	4.9	0.2
		6-7月N5.5	11/26	28.0	68.7	4.0	5.0
パールホワイ	1年目	-	-	-	-	-	-
トキヤンドル	2年目	6-7月N3.5	30.3	78.0	5.0	3.3	0.1
		6-7月N5.5	11/15	30.7	81.7	5.0	4.0

1)下垂度：先端から40cmの位置で水平に保持し、下垂した角度。5=0° とし、45° までを9° ごとに5段階に分類し、1~9° を4、37~45° を0とした

表2 12月の切り花品質と採花本数

品種名	試験区名	切り花重	切り花長	輪数	下垂度 ¹⁾	1株当りの採花本数	
デリカード	1年目	26.1 g	69.1 cm	4.9 輪	4.4	0.8 本	
	2年目	6-7月N3.5	25.1	71.5	4.3	5.0	0.8
		6-7月N5.5	27.1	69.2	4.4	5.0	1.7
ビダル	1年目	34.2	79.7	5.0	3.8	2.0	
	2年目	6-7月N3.5	27.1	72.3	4.3	4.0	1.1
		6-7月N5.5	28.2	74.0	4.4	4.0	1.6
レジーナ	1年目	39.5	82.1	4.4	5.0	1.4	
	2年目	6-7月N3.5	34.6	72.9	3.9	5.0	0.7
		6-7月N5.5	31.6	73.2	3.4	5.0	0.6
パールホワイ	1年目	12/15	43.5	83.5	5.5	4.0	0.1
トキヤンドル	2年目	6-7月N3.5	36.4	86.8	4.6	4.2	0.3
		6-7月N5.5	36.4	87.9	4.5	4.3	0.4

1)下垂度：表1に同じ

耕種概要：栽植密度15株/m²で2003年6月24日に定植し、。2004年6月18日に15cmの高さで切り戻し、萌芽した芽を8月下旬に7本に整理し、8月~10月に2本ハーフピンチを行った。切り花数・品質調査は2004年10月に開始した。

2年目各区の10a当たり月別施用量は下表のとおり施用した。

	6-7月N3.5区			6-7月N5.5区			肥料名 *2	施用時期
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O		
6月~7月	kg	kg	kg	kg	kg	kg		
	3.5	0.8	0.8	5.5	2.3	2.3		
	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	OKF-9	6月切戻し前
	0.2	0.2	0.2	0.6	0.6	0.6	OKF-9	6月切戻し後
	0.5	0.5	0.5	1.5	1.5	1.5	OKF-9	7月
	2.7			3.2			硝酸石灰	6月切戻し後~7月中旬
8月	2.1	1.4	2.3	2.9	2.1	3.1		
	0.7	0.7	0.7	1.0	1.0	1.0	OKF-9	8月中旬まで
	1.4	0.7	1.6	1.9	1.0	2.1	OKF-1	8月中旬から

*2 供試肥料の保証成分 (N-P₂O₅-K₂O)： OKF-9(15-15-15)、OKF-1(15-8-17)、硝酸石灰(14.3-0-0) を使用

[その他]

研究課題名：カーネーションの2年切り栽培

研究期間：2001年~2004年

予算区分：県単

研究担当者：樋山妙子、諸岡淳司